

JAグループ鳥取自己改革推進レポート（10月号）

1. JA経営基盤の確立・強化にかかる意見交換会

- (1) 令和元年10月8日(火)に「全中・農中とのJA経営基盤の確立・強化にかかる意見交換会」を倉吉未来中心にて開催した。全中の比嘉専務および農中の松永常務、宇都宮部長を招き、全国的な情勢や検討方向等について説明を受け、意見交換を実施した。
- (2) 意見交換では、経営基盤強化に向けて（一社）全中が指導力をどう発揮し指針を示すのか、今の金融情勢の中でのJAバンクとしての今後の経営戦略の考え方や具体的な取り組み等について意見が交わされた。
- (3) 今後、全国で行われた意見交換を基に全国での対応方向が整理・具体化が検討される。本県においても、これらを参考に「JAグループ鳥取組織・事業機能改革」での協議を踏まえつつ、「持続可能なJA経営基盤の確立・強化」の取り組みを進めていく。

【全中・農中とのJA経営基盤の確立・強化にかかる意見交換会】

- | | |
|---------|--|
| 1. 開催日 | : 令和元年10月8日(火) |
| 2. 出席者 | : 総合JA・信連・中央会（常勤役員）、全農・共済連（本部長・副本部長）
全中、農林中金、事務局 計35名 |
| 3. 主な意見 | : (1)全中・農林中金としての具体的な改革案について
(2)農林中金の今後の方向性（金利や貯金量、人員など）について
(3)（一社）全中としての今後の経営相談機能の発揮について など |

2. JA全農とつとりのJA自己改革の実践

(1) 「共同購入トラクター」第2弾

生産資材コストを削減し生産者の所得向上を目標に取り組む「トラクター共同購入」第2弾として、「中型トラクター（28～35馬力クラス）共同購入」の事前申込みを開始している。生産者が求める機能とともに中型トラクターの開発をメーカーに要求し、令和2年10月からの供給を目指す。

今秋より生産者からの購入見込みアンケートを実施し、令和2年2月末までに台数を取りまとめる。全農のスケールメリットを活かしてメーカーから一括購入することで生産者の購入価格の引き下げにつなげる。

3. ちょきんぎょカップ少年サッカー大会を開催（JA鳥取信連）

JAバンク鳥取は、令和元年9月21日、22日の両日“JAバンク鳥取ちょきんぎょカップ”第22回鳥取県少年サッカー大会を東郷運動公園多目的広場を主会場として開催した。

この大会は、「たくさん子ども達にサッカーの楽しさを知ってもらい、多くの人々と交流を深め、夢を持ち続け心豊かな人間となってくれること」を目的とした小学4年生以下の大会。JAバンク鳥取では、この大会を通じて、JAバンク鳥取のPR・地域貢献、更には

子育て世代の保護者との取引拡大を目的として、この大会を共催し、今年で11年目となる。大会には、JAの金融担当部長や、参加チームの管轄店舗の支所（店）長、金融担当課長の出席を得て、記念品・参加賞の贈呈のほか、管轄チームの応援を行った。

JAバンク鳥取は、地域と共に発展してきた組織として、地域貢献を使命と考え、地域に根差した活動を今後もサポートしていく。

4. 迅速な「ペーパーレス手続き」「キャッシュレス手続き」で利用者に満足を（JA共済連鳥取）

JA共済では、JAと連合会による一体的事業運営を深化させ、組合員・利用者との関係を強化し、強固な事業基盤の確保を目指した取り組みを行っている。

その中の一つである「事務負荷軽減の迫及」として、携帯用端末機（タブレット）を活用したペーパーレス手続きや決済専用機器を活用したキャッシュレス手続きの拡大を図り、迅速で確実な手続きをすすめることで利用者からの利便性向上と利用者対応力の強化を図っている。

ペーパーレス手続きは、平成28年4月から段階的に導入し、現在では主要となる共済種類で新契約の引き受けと一部の異動の手続きが可能となっている。

決済専用機器を活用したキャッシュレス手続きでは、平成30年12月より系統内口座での利用も可能となり、また平成31年4月にはデビットカード払も導入し、契約者の利便性をさらに高めている。

今後もAIなどの新技術を活用した事務手続きの簡素化・標準化をすすめ、契約者・利用者の利便性向上をはかるとともに、利用者対応力のさらなる強化を目指していく。

【ペーパーレス手続き状況推移】(新契約)

	H29.3	H30.3	H31.3	R1.8
生命新契約	33.7	60.3	73.6	83.1
建更新契約	-	72.4	86.4	91.0
自動車新規	-	34.6	56.1	67.9
自動車継続	-	17.7	50.7	91.9

※生命新契約についてはH28年度から導入。

